

学校経営管理全体計画 (構想)

教育目標：心豊かで しなやかな 生徒の育成

★日本国憲法・教育基本法・学校教育法
・学習指導要領などの関係法規
★滋賀県や栗東市の教育振興基本計画・
教育方針
★中学校区としての取り組み
子育て教育Nextプロジェクトの推進

校訓：「自主自律」「不撓不屈」「協心協力」

【めざす学校像】「人間の尊厳」と「生命の尊重」の実践校

1 人権・同和教育を根幹に置いた学校づくり

- 教師も生徒も互いに磨く人権感覚
- 基礎学力の確かな定着とさらなる向上

2 学校・保護者・地域との連携による学校づくり

- 信頼と活力に満ちた風土の醸成

【めざす教師像】

- 生徒に寄り添い、生徒とともにがんばる教師
- 団結し、高め合う教師
- つながりを大切にできる教師

【めざす生徒像】

「自立できる生徒」

- 自分を大切にできる生徒
- 人を大切にできる生徒
- 目標を持ち、達成に向けて進む生徒

〈本年度の重点目標〉 スローガン：『ひとりにしない』

- ①生徒の意見表明権を尊重し、自立して生きる力の育成に努めます。
- ②生徒一人ひとりが互いのしんどさを受け止め、尊敬しあえるつながりを作るとともに、自己存在感や充実感を感じ、安心できる居場所づくりに努めます。
- ③生徒の自主的・自発的な学習習慣を定着させるとともに、わかる・できる・楽しい授業の工夫改善に努めます。
- ④家庭や地域との連携や教育相談など生徒の実態把握に努め、いじめや不登校、問題行動の防止に努めます。
- ⑤「ありがとう」を大切に、あいさつや言葉遣い、服装、清掃など基本的生活習慣の定着を図るよう指導に努めます。

【学校経営の柱と具体的方策】

校内研究推進委員会

- 研究主題
「繋がる力をつけるための話し合い活動の充実
～子どもの声を反映できる学級・学校づくり～」
- 狙い
心身の安全な学級（学校）の中で、互いの意見を表明・尊重
する態度を養い、教師と協働して課題解決に向かう生徒を育てる
- 研究の内容及び方法
○子どもの自治の力が育まれる風土づくり
・「学級会」の実施
①学級や学校生活における諸問題の解決
②学級や学校内の組織づくりや役割の向上
③学級や学校における集団の生活の向上
○子どもの思いや願いが反映される環境づくり
・「子どもの権利」と「子どもの基本法」の学習
①学校行事・学校のまわり等について、子どもの声を聴く
②生徒との協働実行委員会を組織し、対等な立場で話し合う
③子どもの良しや持ち味が生かされる主体的な学びづくり
④話し合いや発表の時間を大切に授業づくり
⑤子ども主体で展開される授業・学習形態の工夫

人権・同和教育推進委員会

- 推進目標
(1)差別を許さず、共に支え合い、共に高め合い合える集団づくり
(2)正しい人権認識と実践力を養い、確かな将来の展望をもつ子どもの育成
(3)互いのしんどさや生きにくさを受け止め、尊敬しあえる集団づくり
(4)誰もがなりたいたい自分を目指して、失敗を恐れずに挑戦できる集団づくり
- 取り組み内容
①被差別地域の子どもの支援体制の確立
②ヒューマンタイムの計画と実施
③集団づくり
④人権週間への取り組み
⑤両中ほっとタイムの企画・運営
⑥職員研修の企画・運営
⑦学校と保護者との連携
（ひだまりの家・こまセン・山崎・P・T・A・人権教育推進委員会・会館研修部等）
- 活動の重点
①被差別地域の子どもの支援の強化
②ヒューマンタイムの取り組みの計画的な実施
③職員研修の実施
④保護者・地域との連携
⑤生徒会等に対する取り組みの継続
⑥子どもの声が反映される集団づくり

特別支援教育校内委員会

- 特別支援教育の方向性
システムで支える効果的な特別支援教育
- 今年度の目標と具体的な計画
①特別支援教育推進のシステムづくり
・現状を把握し、対策を考え、実行するシステムを構築する。
②校内における推進
・基礎的領域の習得と合理的配慮の実現。
③個別のサポート
・個別の支援の対象となる生徒で早期に把握し支援を実施する。
・通常学級、通級による指導、特別支援学級、個別学習など、生徒
のニーズに合わせた指導をする。
④保護者のサポート
・教職員や関係機関と連携して保護者をサポートする。
⑤関係機関との連携
・協働相談を実施する。
・医療や福祉機関と連携する。

生徒指導推進委員会

- 生徒指導の指針
生徒が安心して生活できる学級、学年、学校づくり
- ①生徒との信頼関係づくり ②生徒に応じた指導・支援計画の作成
- ③保護者・家庭との連携・協力
- 生活指導の活動目標と方針
・未然防止の指導の実践と迅速な問題行動対応の推進
・規律ある学習環境の保全と特別活動等での人と繋がる力の定着
・適切な初期対応と未然防止を目指し積極的な生徒指導
- ④丁寧な情報収集と確かな記録
⑤基本的生活習慣・規律に関わる指導の継続、未然防止の徹底
⑥いじめのアンケートにおける丁寧な指導
- 生徒支援部の活動目標と方針
すべての生徒に安心して居るしくみづくり
①「受容・承認」夜更来たこと
②量力やいじめ被害生徒の救済支援を進めること
③症状を改善することより、心の元気を保つスキルを育てること
④保護者と担任のつながりを支えること

人 権 ・ 同 和 教 育 の 推 進

学校評価

【学校協議会の提言】

学校・家庭・地域・保護者との連携強化
(※年間3回の開催)

【評価指標】

・学校関係者評価－保護者等(年1回)
・内部評価－教職員、生徒(年1回以上)

【評価の観点】

・学校運営全般と教育目標との関係
・目標の具体化と達成のための教育活動
・保護者や地域への啓発と連携

【達成目標】

・目標達成のための指標として、各実績評価
において、高い評価をめざす。